回　覧

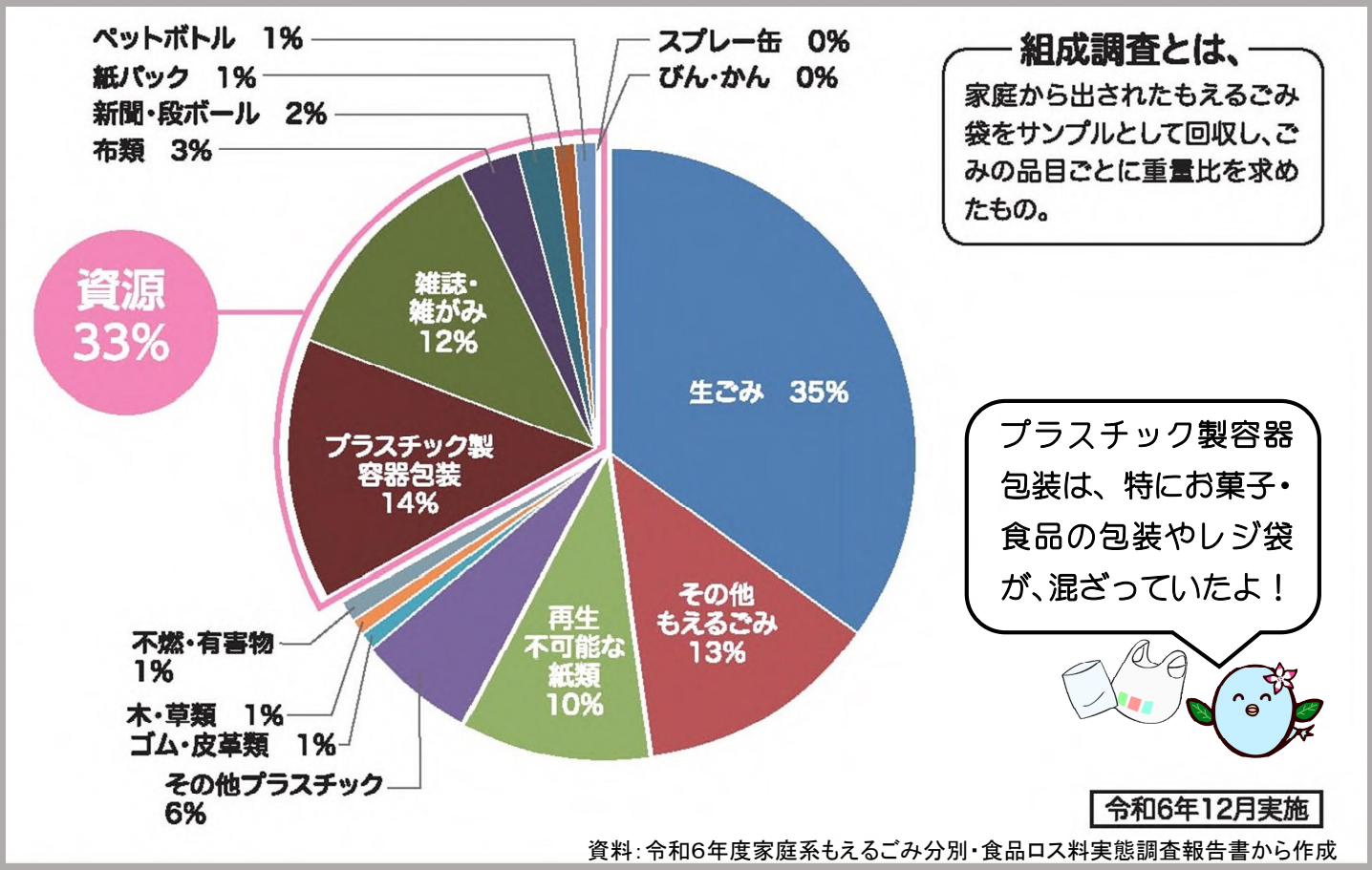


ながくてごみ減量化通信

令和７年 11 月号　長久手市役所環境課

長久手市のごみの現状、リサイクルに関する情報を紹介します。
今回は、毎年実施している《もえるごみ組成調査》の結果についてお知らせします。

長久手市のもえるごみ袋の中のようす



資料：令和6年度家庭系もえるごみ分別・食品ロス料実態調査報告書から作成

調査の結果から家庭から出される**もえるごみの中には資源化できる可能性があるものが３３%混入**していることがわかりました。特に「プラスチック製容器包装」（１４%）と「雑誌・雑がみ」（１２%）が多く混入しており、
これらを分別するだけでも大幅なごみ減量が期待できます。



そして、もえるごみの中で、一番大きな割合を占める「生ごみ」（３５%）！
生ごみを減らすための「３切り運動」を、裏面で紹介します。

→→→→→→うらへ

生ごみ減量漫画



※スーパー等で購入できる水きり袋やポリ袋を活用すれば、手の汚れを防ぐことができます。
水きりは、ごみの焼却効率を高め、焼却費用や二酸化炭素排出量を減らすことに繋がります。



「生ごみ」の中には、まだ食べることができるのに捨てられてしまう食品＝「食品ロス」も含まれています。

次回、ながくてごみ減量化通信では、「食品ロス削減」のひと工夫を紹介します。